

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	「しあわせになる」という理念があり、各利用者様の思いをもとに地域での生活を支えている。		利用者様、家族よりここでの生活でよかったと思って頂けるようにしていく。
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	見やすい所に掲示してあり、日々のケアのもとに理念がある事を意識しながら仕事に取り組んでいる。		職員は朝の申し送り時に理念を黙読し、仕事に臨みスキルアップしていきたい。
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	運営推進会議を通して出席の方には、理念と役割りについては説明している。		地域向け広報を利用し、事業所の実践を伝え理解して頂ける様取り組んでいく。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	ゴミ出し、散歩、買い物時には積極的に挨拶や話しかけを行い関係も出来ているが、事業所に気軽に立ち寄って頂くまでにはない。		地域の方と利用者様を交えたお茶会を開催し、交流の機会を作っていきたい。
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域のお祭りや盆踊り等には利用者様と共に参加している。又、地域活動への参加や情報収集にも努め、交流の機会を持つようにしている。		今後も地域の行事に参加し、地域住民の一員としての役割りを担っていききたい。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	地域の方からの相談に応じながら、他機関への紹介や事業所として出来る事は取り組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	全職員で自己評価の意義を理解し、取り組んでいる。又、結果については全体会議で改善に向けての話し合いをしている。		改善内容については計画を立て取り組んでいき、全体会議を利用し、職員の考えも取り入れていく。
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では自己評価・外部評価の結果と取り組み等について報告し、意見を頂いている。		運営推進会議に色々な方に参加して頂けるよう議案を考えていきたい。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市担当者には運営上の質問や取り組みについてご協力頂きながら取り組んでいる。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	管理者・職員は成年後見制度や地域権利擁護事業についての知識は不十分である。		成年後見制度や地域権利擁護事業についての研修参加と勉強会を行ってきたい。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	虐待防止については抑制廃止委員会を中心に、具体的に話し合い取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結と解約についての説明は十分行っている。又、不安な点や必要とする時は話し合いを持って理解を頂いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様からの意見や不満等がある時は話を十分に聴き、管理者・職員は情報の共有をし、運営の参考としている。		利用者様の要望や意見を引き出せるように意図のあった会話の機会を多く作っていく。
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	健康状態に変化がある時、面会や毎月のお便りにて近況報告を行っている。		広報に職員紹介や発行回数を増やし、利用者様の普段の暮らしぶりを伝えていきたい。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族様の意見や不満は表出しやすい様、意見箱の設置を行っている。又、外部の相談機会等の情報提供は契約時に説明している。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンス、全体会議や個人面談にて職員から聴くようにしている。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	レクリエーション、通院介助、緊急時等は必要に応じて調整されている。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	職員が代わる時は、引継ぎを十分に行いダメージが無いよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援			

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部の研修参加へは段階に応じて参加しており、報告書の提出もされているが、内部での発表が十分にされていない。		研修内容のアンケートをとり、外部から講師を招いたりし、研修の充実を図っていく。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	市全体・同地区の管理者会議があり、その都度出席し、ネットワーク作りや勉強会などを通じてサービスの質に取り組んでいる。		同地区の管理者会議で、交流の機会等の取り組みが検討されている。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	運営者は日常の話しかけにより状況把握に努めている。親睦会の開催や職員間の交流にて悩みの軽減を図っている。		親睦会を開き、職員同士で悩み・ストレスの解消となるようにしている。
22	向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	運営者は現場に来ており、利用者様とお話したり職員各々の悩みを把握するよう努めている。		話しや意見をもとに、考えた事を実行にうつせる様に又結果、問題点がなかったのか常に考え話し合いのできる環境づくりをしていく。
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に利用者本人にも見学して頂くようお願いしている。利用者様が求めていること等は良く聴き、思いがかなうように対応している。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	見学時に家族の困っている事、求めている事等は聴くように対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談を受けた時に本人と家族が求めている事が何か十分に聴き出し、他機会の利用も含めた対応を行っている。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	事業所見学をして頂き、雰囲気を感じてもらい場合によってはお試し利用等にも応じている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一方的に介護するのではなく、共に出来る事を一緒に行ない職員も教えてもらったり、助けて頂いている。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族と共に利用者様と一緒に支える事を目指しており、情報の共有を図り関係を築いている。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	外出・外泊の対応は柔軟に対応している。又、家族会等の行事を設け、関係の継続に努めている。		利用者様と家族の共有の時間が持てるよう、行事内容を見直していきたい。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族、友人、知人に会う事が出来るよう通院後や利用者の体調に合わせて支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士でお互いの部屋で談話出来るよう支援している。孤立がちな方には職員が介入し調整している。		他階との利用者同士の関わり合いの機会がもてるよう物作りなど行っていく。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居された後もお見舞いや訪問する機会を持っている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の対話の中から本人の希望や意向を聞き、沿えるよう努めている。又、自分の意志が表しづらい方には生活歴をもとに聞き出している。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者様各々から頂いた情報は生活に生かし対応しているが、必要によっては再度お聞きし把握に努めている。		職員の入れ替わり(特に管理者)があり、情報漏れがあるので情報を取りまとめ整理していく。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	利用者様一人ひとりの生活のリズムや能力を理解するとともに、動作や会話よりその人の全体像を把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	各利用者様の思いや意見をお聞きし、反映された介護計画書を作成している。		定期的に家族にアンケート調査も行ない、よりよい介護計画書作りに取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的な見直しと、状態変化に応じて介護計画書を作成している。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	利用者様各々の様子や気付き等は個人ケースや日誌に記録され、介護計画書見直しに生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	通院や趣味の教室等、柔軟な対応をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察・消防・民生委員などの協力を得ながら支援している。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他サービスを利用出来る事は利用者様や家族には話している。ご本人の要望や必要性に応じて、地域サービスの訪問理美容を利用している。		デイケア・デイサービスを希望する時は支援の体制がある。
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加することにより、気軽に相談したり方向性を指示して頂いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	入居時にかかりつけ医については本人・家族と相談の上決めている。協力医療機関の往診も受け、健康管理を行っている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医・往診医に相談する他、必要によっては家族と話し合い認知症外来を受診している。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力医療機関・かかりつけ医の看護師には相談にのって頂きながら健康管理をしている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	ご本人の情報提供とホームで生活出来るレベルについては担当医に報告し、早期退院に向けての協働を行っている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	かかりつけ医の診断のもと、早い段階から関係者・家族等とは話し合い、全員で方針を共有している。		運営者と重度化、終末期については話し合いを重ね、段階的に取り組むことにしている。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度化や終末期については事業所として出来る事は、かかりつけ医と共に取り組んでいる。		全職員のスキルアップを図り、利用者様・家族に安定した状態で取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>ホームでの生活支援内容、注意点、本人のこだわり等をきめ細かく報告し住み替えのダメージを最小限にしている。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>職員は利用者様を人生の先輩として、言葉使いや対応をしている。又、個人情報の取り扱いについても十分注意して行っている。</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>利用者様との会話の中から各々の思いや希望を探り、個々に合わせ選ぶ機会を作っている。</p>		
<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>一人ひとりの起床や食事時には配慮しており、買い物・散歩等は調整し希望をかなえている。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>日常的に髪型、服装に気を遣われているので、行事や外出の機会を設け楽しめるようにしている。自己決定出来ない方も一緒に考え希望に添うようにしている。</p>		
<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。</p>	<p>一人ひとりの好みを把握しており、メニュー変更や盛り付けで工夫している。利用者様に合わせ、下準備や片付けを見守りの中でして頂いている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	お酒・タバコを嗜む方はおりませんが、お菓子・飲み物等は体調に配慮しながら楽しめるようにしている。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	尿意のない方には時間で声掛けをし、トイレでの排泄に向けた支援を行っている。自立されている方も多いが、排泄チェック表に記入しパターンを把握している。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	体調を見てタイミングを合やすようにし、拒否のある方は工夫(音楽を流す等)しチーム対応している。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとりの体調や疲れ具合(行事・通院や外出等)を申し送りや表情で把握し、休息が取れるようにしている。又、寝付けない方には時々の対応にて環境作りを行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	趣味(詩吟・書道)や持てる力を活かし、買い物やドライブ等で気分転換を行っている。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族様と相談の上、ご本人の希望と力量に応じて所持出来るようにしている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	花見や紅葉狩りの他に馴染みの店や場所に行ったり、近所の買い物等出来るだけ希望に添えるようにしている。		車椅子を利用の方の希望が十分には叶えられていないので、人員配置やボランティアの手助けを借りて実施していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが言ってみない普段はいけな いところに、個別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機会をつくり、支援 している。</p>	いちご狩りなど近郊・日帰りではあるが、全体又はユニット毎、個別の外出の支援は している。		事業所として泊まりの行事はしたことがなく、利用者様の体調を踏まえ家 族と協働しながら前向きに考えてみたい。
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支援を している。</p>	本人が希望する時はいつでも電話を使用する事が出来、家族や友人からの手紙・電 話には気を付けて対応している。		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人 たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よ く過ごせるよう工夫している。</p>	家族や馴染みの方々がいつでも訪問できるように訪問時間は定めていない。来所し た時はゆっくり過ごして頂けるよう配慮している。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 行為」を正しく理解しており、身体拘束をし ないケアに取り組んでいる。</p>	ベット柵を介助バーとして利用しており、運営者・全職員は身体拘束の禁止事項につ いては理解している。		
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解しており、 鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	入口のセンサーがナースコールとしても利用している為、鳴った時は確認している。 (玄関・ユニット扉は夜間のみ防犯の為施錠している。)		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼 夜通して利用者の所在や様子を把握し、安 全に配慮している。</p>	昼夜通して利用者様の所在や様子を把握し、トイレ誘導や移動の見守りをし安全に 配慮している。		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすの ではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防 ぐ取り組みをしている。</p>	薬・刃物・はさみ等の保管と管理は職員が行っているが、利用者様の状態によっては 洗剤や裁縫道具を持っている方もいる。		利用者様の状態を見極め、状況変化に即した対応をしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	一人ひとりの事故を未然に防ぐ為に、事故防止委員会にて事故報告書・ヒヤリハットをもとに話し合い事故防止に努めている。		
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	年に2回の応急手当の勉強会を組んで、蘇生術等の研修を実施している。緊急時の対応マニュアルもあり、周知徹底を図っている。		急変の対応には不安があるので、細分化した勉強会の実施を行っていきたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	運営推進会議を通して町内会には、災害時に協力して下さるよう呼びかけている。又、消防署の協力の下避難訓練を実施している。		防災用品は計画的に取り揃え準備している。地域の情報も集め、町内会の防災訓練にも参加している。
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	起こり得るリスクの把握に努め、利用者様の思いがかなう方法を見出している。その都度、家族への報告と希望も聴き取り入れ対応している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	普段の状況を職員は把握しており、変化がある時は担当医に相談し受診時の対応をしている。管理者・職員間・家族への連絡と共に情報の共有を図っている。		気温の変化や感染の流行情報を収集し、先手の対応をとっていきたい。
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員は服薬の内容を把握しており、用量等の変更がある時はバイタル測定の回数を増やし、担当医に記録の報告を行っている。		薬剤師を招いて、副作用の勉強会を行なっていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	便秘が及ぼす影響は理解しており、水分量や食材の工夫・マッサージ等により自然排便が出来るようにしている。下剤量は担当医と相談し、利用者様の負担軽減に努めている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	朝・夕の口腔ケアについては、見守りと一部介助にて行っている。		昼食後の口腔ケアが十分されていないので、見守り又は、一部介助にて実施していきたい。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量・水分量は一人ひとりの体調に合わせて対応しており、チェック表にて記録している。嗜好も把握しており管理栄養士へ相談し個別の支援を行っている。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	各々の感染症のマニュアルはあり、毎日の食後・掃除等に対応を行っている。インフルエンザ・肺炎予防ワクチン(任意)を家族了承のもと接種を受けている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎日調理用具等の漂白を行ないチェック表にて確認している。食材は外注しており、ほぼ毎日配達されている。食材の残りが生じない発注と無駄なく使用するように工夫している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関前にプランター・ベンチ・表札にて親しみやすく安心して出入りが出来るようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居間・玄関等に花や飾り等で季節感を採り入れ居心地よく過ごせるようにしている。		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	仲の良い利用者同士で過ごしたりしているが、共用空間が狭く居場所作りに苦慮している。		1階部分を使い思い思いに過ごせる空間作りをしていきたい。
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いたれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者様の好みや使い慣れた家具が持ち込まれており、居心地よく過ごせるようにしている。		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度・湿度計にて確認し、利用者様の発汗や手足の状態に合わせ調整している。トイレは換気扇と消臭剤にて工夫している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下・浴室・トイレ等に手摺りが設置されており、身体機能を活かし安全に生活が送れるようにしてある。		段差(大・小)がありスロープや踏み台にて解消しているが、危険なため見守りや一部介助を徹底していきたい。
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	利用者様にとってわかりやすい表示や本人の力が発揮できるよう環境整備を行っている。		
87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	今年は裏の畑を活用出来なかったが、プランターの苗植えや花は楽しんで頂いている。		作物が収穫できるよう畑の手入れから利用者様と一緒にいっていき、収穫を喜び合いたい。

サービスの実績に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある <input type="radio"/> 数日に1回程度ある <input type="radio"/> たまにある <input type="radio"/> ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> 家族の2/3くらい <input type="radio"/> 家族の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどできていない

サービスの実績に関する項目	
項目	取り組みの成果
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように 数日に1回程度 <input type="radio"/> たまに ほとんどない
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くない
98 職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

趣味の詩吟が習いに行けるようお手伝いしています。
 買い物や本人が行きたい所(入院中の妻)にお連れしたり、今後も入居者様が平穏で安心して過ごせるようにしていきます。